

2016年度日本数学会賞建部賢弘賞受賞者の横顔

2016年度の日本数学会賞建部賢弘賞の授賞式は、2016年度秋季総合分科会の際の9月16日（金）14時30分より、関西大学にて行われました。

受賞者については、「数学通信」第21巻3号の会報163でお知らせいたしました。建部賢弘賞は1999年度より特別賞、奨励賞の2部門となりました。受賞者の方々の紹介として、ご本人からプロフィールを数行書いて頂き、写真と共に掲載しています。

（五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです。）

特別賞

生駒典久（金沢大数物准教授）

業績の題目：変分的及び非変分的アプローチによる非線形楕円型方程式の研究

今回、このような過分な賞を頂き大変光栄に思い、これまでご助言等を賜った様々な方々に感謝しております。ただ、賞に見合うだけのことができたかについては不安を感じております。今後は広い視点を持って研究に励んでいきたいと思っており、皆様から色々と教えて頂ければ幸いです。

野坂武史（九大数理助教）

業績の題目：カンドルの代数トポロジーと低次元多様体

この度は荣誉ある特別賞を頂き、大変光栄に存じます。

私の研究は低次元トポロジーと代数トポロジーです。特に、カンドルという代数系を扱い、カンドルの理論構築や位相的応用を目指す研究をしてきました。受賞を励みに、今後より一層精進する気概です。また日頃よりお世話になっている方々へ厚く御礼申し上げます。

山下真（お茶の水女大 お茶大アカデミック・プロダクション助教）

業績の題目：量子群の作用素環論的研究

量子化に関わる様々な現象について、主に非可換解析の立場からの研究をしています。自分には研究が向いていないのではと思うことも何度もありましたが、国内外の様々な方々との幸運な出会いのおかげでなんとか続けてこれました。この受賞が次の世代の方達への励みとなれば幸いです。

奨励賞

阿部健（京大国際融合教育研究推進センター・京大理特定助教）

業績の題目：最大値ノルムによるナビエ・ストークス方程式の解析

大気や水などの非圧縮性流体の運動を記述するナビエ・ストークス方程式について研究しています。この度は身に余る賞をいただき大変光栄です。この場をお借りして、日頃お世話になっている方々に厚くお礼申し上げます。

阿部圭宏（神戸大理学振 PD）

業績の題目：グラフ上のランダムウォークの被覆時間及び局所時間の精密な評価

ランダムウォークがつくる「穴」と「山」について興味を持ち、研究しています。先生方の大きな背中を見て多くを学び、同世代の方々から多くの刺激をいただき、歩を進めることができました。厚く御礼申し上げます。たとえ泥臭く牛の歩みであっても前に進みます。

大場貴裕（東工大理工博士課程 2 年）

業績の題目：接触多様体とその Stein 充填に関する研究

ファイバー構造を用いて接触多様体とその Stein 充填の研究をしています。この研究は様々な分野との関わりがあり、知識の習得においては辛いこともあります。しかしその分、多くの研究者との交流の機会に恵まれ、それが私の研究の醍醐味の一つになっています。この場をお借りし、お世話になった方々にお礼を申し上げます。

神田遼（阪大理助教）

業績の題目：グロタンディーク圏のアトム・スペクトラム

環上の加群の圏や、スキーム上の準連接層の圏を一般化した概念であるグロタンディーク圏を研究しています。グロタンディーク圏に付随する空間（スペクトラム）の一般論を構築し、その応用として、ネーター環の構造に関する新しい現象を見出すこと、および既存の定理に圏論的な理解を与えることに取り組んでいます。

北別府悠（京大理学振 PD）

業績の題目：リッチ曲率が下から押さえられた空間の幾何学

リッチ曲率が下から押さえられたような測度距離空間上の幾何学及び解析に興味を持っており、

この場をお借りして日頃お世話になっている先生方や友人に御礼を申し上げます。賞の名に恥じぬようこれからも精進します。

若杉勇太（名大多元数理学振 PD）

業績の題目：消散型波動方程式の解の漸近挙動に関する研究

消散型波動方程式とよばれる、摩擦を伴う波の伝播を記述する偏微分方程式に対して、解の長時間挙動を研究しています。特に、摩擦の大きさや形状によって解の振る舞いがどのように決まるのか、という問題に取り組んでいます。この場をお借りして、日頃からお世話になっている方々に厚く御礼申し上げます。